巻頭言

一九二八年を迎ふ

苦闘多かりし一九二七年を送り新なる歳一九二八年を迎ふ。顧みて過去一歳を思ふ時其れてが我等への試練の歳であり教訓の歳であった。大衆を反動化さんとする右翼幹部との分離――正道確立派の中二としての本組合の使命と任務の勇敢なる遂行し其の戦線への争!!!更に所謂宗派的分裂主義者たる極左の組合攪乱策と戦ひ戦線の統一拡大に力闘し来った。等は斯の如き非大衆的少数自己中心主義的幹部の特宣乱を右に克服しつゝ、左に真に大衆的階級的立場を厳し徒らに其の懸声のみ大にして非実際的運動を排し、実なる然も收穫的なる政治的経済的運動を支持し或は其の前衛となって絶えざる支配階級の抑圧迫害と果敢な闘争を續行した。

見よ!昨春四月全国的に行はれたる金融の大恐慌に表れたブルジョア支配階級が一般民大衆(無産階級)に対する九億七百万円の血税の負擔の強要に対する政治的反抗運動!!

日本労農新聞を読め!!
各支部は党機関紙日本労農新聞を一般会員に購読せしめよ!